

# 第3章 写真で見る10～15年

## 創立10周年記念式典 報告 Newsletter 第41号



長谷川 会長



田島県技師会副会長



野口 JIRA 経済部会長



記念講演中の福田さん

### 記念式典次第

総合司会：上前 忠幸 副実行委員長

1. 長谷川会長挨拶
2. 橋口実行委員長より「創立10年」の経過報告
3. 来賓あいさつ
  - 公益社団法人神奈川県放射線技師会  
大内 幸敏会長（代理 田島隆人副会長）
  - 日本画像システム工業会経済部  
野口 雄司 部会長
  - 前神奈川県会議員  
合原 康行氏
4. 記念講演
  - 「復興6年！東日本大震災被災地を訪ねる」  
司会 長谷川 武
  - 報告者 福田 利雄
5. 放談会
  - 「これからの放友会活動を語る」  
司会 早瀬 武雄
6. 閉会の言葉

小松崎眞一 副実行委員長・副会長

出席者 25名

- |       |   |       |   |       |
|-------|---|-------|---|-------|
| 柳生 博  | ・ | 加藤 功  | ・ | 松枝 由美 |
| 氏家 盛通 | ・ | 星野 光雄 | ・ | 阿蘇 久  |
| 中島 義人 | ・ | 宮原 新吾 | ・ | 齋藤 莊繁 |
| 合原 康行 | ・ | 菊田 晴代 | ・ | 田島 隆人 |
| 野口 雄司 | ・ | 長谷川 武 | ・ | 橋口 邦紘 |
| 小松崎眞一 | ・ | 中村 豊  | ・ | 橘 亨   |
| 上前 忠幸 | ・ | 櫻田 晃  | ・ | 福田 利雄 |
| 小嶋 昌光 | ・ | 仙臺真紀夫 | ・ | 本田 義和 |
| 早瀬 武雄 |   |       |   |       |



参加者全員で「息を吸って…」(笑)

## NPO 法人プラチナ美容塾の活動で元気に！ Newsletter 第42号

詳細は [プラチナ美容塾](#) で検索

松枝 由美 (会員番号 73)



東京都女性活躍推進大賞 授賞式にて



## 管理栄養士の仕事について Newsletter 第43号

菊田 晴代 (会員番号 14)



私は、管理栄養士の仕事に就いています。  
皆さんは管理栄養士がどこにいて、何をしているのかご存知でしょうか。  
管理栄養士の仕事は多岐にわたっています。病院や薬局での栄養相談、地域での訪問栄養指導、また学校や会社などでの集団給食、さらには学校の教員、役所などで地域保健に携わる行政の栄養士、その他諸々です。

## 女子中学生の声！ 「放射能はうつりません」 ■ ■ Newsletter 第43号

平成29年度秦野市人権擁護委員会人権に関わる作文最優秀賞・・・

福田 利雄 (会員番号 11)

私が、秦野南中学校1年生根本さんの作文を読む機会を得る事が出来たのは、自慢になるかもしれませんが、秦野南中学校2年になる私の孫が、秦野市人権擁護委員会が募集した人権に関する作文にて最優秀賞を受けた事による。9校558編の作文が寄せられ3編が最優秀賞を受け、根本さんの作文も最優秀賞を受けた1編である。その内容は、まさに我が神奈川県放射線友の会(神奈川 放友会)が目標として活動しているものである。福島原発事故に関連する「風評被害」と「いじめ」は、震災から7年経過した現在においても問題となっている。1月14日の読売新聞社説にも、この問題が取り上げられ、福島風評被害、いじめ対策として、復興庁の基本方針として「放射線への正しい理解を広める」事が戦略の一つとして述べられている。女子中学生の「いじめ」と「風評被害」への強い想い、我々の活動を後押ししてくれている様に思われます。

# 東京電力福島第一・第二原子力発電所見学と 富岡町役場表敬訪問の記録

Newsletter 第44号

**神奈川県放射線友の会様  
福島第二原子力発電所 御視察記念**



発電所全景



長谷川武 様ご挨拶



1号機 海水熱交換器棟裏



平成30年 7月12日 (木)

**TEPCO** 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所をご視察いただきありがとうございました。

福島第二原子力発電所長 **石井武生**



4号機 原子炉格納容器内  
土蒸気捕集弁周辺



4号機 原子炉建屋 0階  
燃料取扱機械制御室



4号機 原子炉格納容器内  
原子炉圧力容器の下部



廃炉コミュニケーションセンター課長の概要説明



富岡町役場会議室にて

## 平成31年度 神奈川県放射線友の会総会・放談会報告

Newsletter 第46号



開会の挨拶をする長谷川会長



(公益社団法人) 神奈川県放射線技師会  
大内 幸敏会長挨拶

見学イベント詳細

## JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学記

Newsletter 第49号

令和元年8月17日のJAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学は酷暑の夏の日であった。

参加者16名は



JAXA 宇宙科学研究所見学

## 「神奈川放友会」と「2025年問題」を考える

・ 神奈川放友会アンケート調査実施について ・

神奈川放友会構想委員会 福田 利雄 (会員 No 11)

Newsletter 第50号

### 「神奈川放友会アンケート調査」

構想委員会にてアンケート調査に関する検討を開始したのは2019年8月を過ぎてからである。

少子高齢化、2025年問題、超高齢化社会での本会の活動、課題は何か・・・検討資料として「老人クラブ、お年寄り増えても会員減」という記事等を構想委員会の委員に紹介し多くの意見を頂いた。構想委員会の目標として「魅力ある神奈川放友会づくり」「仲間(会員)を増やす」を定め、各委員の意見を基に、目標達成に向けたアンケート調査票の作成に着手した。

会員の年齢層は30代から80代と年齢巾が広い。年齢世代別(5歳毎)での回答・意見の相違、要望も調査分析の一つとした。回答に関する手間・負担を少なくする目的で、設問に対する回答は「チェック☑」で済むようにした。

### 調査内容

下記項目を調査内容として検討し、アンケート調査票を作成した。

- ① 会員の多くが高齢者である事を第一に想定する
  - ・ 自分・配偶者の健康・病気に対する不安
  - ・ 介護(老老介護、確認介護、心身疲労)
  - ・ 生活のための収入(年金)に対する不安
- ② 会員の日常生活、本会に期待する事は何か
  - ・ 生きがいを感じているか
  - ・ サークル活動に参加しているか
  - ・ 日常生活について(仕事、趣味、ボランティア・・・)
  - ・ 地域社会に貢献する活動(放射線への理解を求める)
- ③ 神奈川放友会の活動に関して
  - ・ 入会した経緯について
  - ・ 本会活動評価満足度(Newsletter、HP)
  - ・ 企画された活動への参加意識



魅力ある会  
神奈川放友会活動のため、  
皆さんの意見を  
お聞かせください。

- ・2020年度活動計画（案）の広報と参加意識
- ④ 創立15周年記念大会開催について
- ⑤ 神奈川放友会への要望および意見

#### アンケート調査票

作成した調査票（案）を委員会にて検討し修正を加えた。最終案は2019年12月14日開催の理事会で審議承認され、12月19日神放技事務所にて、最終校正を行い印刷した。発送に関しては、Newsletterと同封で副会長（総務担当）に全てをお願いした。

アンケート調査返信用封筒には様々な記念切手が貼ってあり、必ず返信して欲しい、という強い思いが込められており、回答率に大きく寄与したものと思われた。発送担当の副会長に、感謝！感謝です。

実施期間 2020年1月1日～1月31日（1ヶ月）

調査対象 神奈川放友会会員 63名 回答率 63.5%（40 / 63）

#### 「アンケート調査結果」

調査結果については、「神奈川県放射線友の会活動に関する アンケート調査集計報告」に詳細報告しております。

感想として、多くの会員が日常生活において「生きがい」を感じており、趣味やサークル活動に参加されていた。

これまでの本会活動には満足しているという意見も多かった。また、これからの高齢化社会に対し不安を抱いている項目も共通する点が多いことも分かった。調査結果の情報がヒントになり皆さんの日常生活の生きがいに役立てばと思います。魅力ある神奈川放友会発展のため、皆様の意見を詳細に分析し検討して行きたいと思っております。

メール：[kanagawahyuh2009@jcom.zaq.ne.jp](mailto:kanagawahyuh2009@jcom.zaq.ne.jp)

## 「故郷のホヤ（海鞘）の味」

Newsletter 第53号



ホヤ水をたっぷり含んだ新鮮なホヤ



ホヤの刺身

## 幌延深地層研究センターの見学に参加 印象記

Newsletter 第57号



（「ゆめ地創館」平成19年6月30日開館）



（250m調査坑道で参加者の記念写真）



人工物を組み合わせた多重バリアシステム（ガラス固化体サンプル＋オーバーバック＋緩衝材）

## 養殖サバが人気

Newsletter 第58号



最近では養殖魚が増えており、ハマチやタイ等は一般家庭の食卓迄届いています。養殖魚については関心をもっていましたが、昼のNHKテレビ「食材紹介」で、鳥取県の「お嬢サバ」が取り上げられており、ブランド化されたサバのお刺身が人気だという「サバの養殖」を知りました。

大衆魚である「サバが養殖されている!？」ことを知り、「農漁が食を変える」時代を学ぼうと、海水魚の養殖を調べてみました。その中の一つ「サバの養殖」で、サバを生で食べられる高級食材サバを知ったので紹介します。

## 『『原子力発電廃棄物の最終処分を考える』 -知り・学び・考える-』 の冊子を基にした 横浜市磯子区の地域住民との対話が実現!!

Newsletter 第60号

### 第60回 シルバー男の談話室 講演会

2022年（令和4年）8月1日（月） 9:30～12:15 上中里自治会館



## 第4章 近況報告

### 櫻田 晃 9月15日

#### ・ある夏の日

午前5時起床。ササっと着替えて、妻君と約1時間境川沿いの散歩。毎朝大体会う人の順番と時間、場所が決まっているのが面白い。最初に会う人は、いつもスマホで誰かと話をしながら歩く中年男性。次に会うのは、年恰好もよく似たご夫婦。次いで、老犬を散歩させる背の丸いご老人といった具合だ。帰宅後、ゴミ出しなど少し家事をこなし、一段落したらコーヒーに朝刊。そして朝食。8時過ぎ、“今日も一日平和でありますように”と祈りながら出勤😊。9時～17時は仕事。帰宅。帰宅後、パソコン等でメールやニュースのチェック。夕食。夕食後の最近の楽しみはテニス。テニスは、65歳過ぎから始めた。現在、中上級クラスと順調。始めるまで全く興味が無かったが、職場のテニス好きの知人に誘われて、やってみたらこれがとても面白い。仕事のある日は帰宅後に、休みの日はインドアで4レッスン受けることもある。最近、テニス漬けの楽しい毎日である。しかし、巷ではなかなか収まらない新型コロナ問題に、ウクライナ問題、はたまた旧統一教会問題に安倍元首相の国葬問題、円安に物価高などなど、気が滅入る話題ばかりが続く今日この頃。神にすがって解決できるなら最高なんだがなあー。

### 氏家 盛通 9月20日

新型コロナの感染が発生して、外出の自粛が叫ばれるようになり、各種行事が中止や延期となりました。そのせいか、それとも歳のせいか分からないが、体力の減退が感じられるようになってきています。都知事からは、神奈川の人、多摩川をなるべく渡らないようにと言われているようで、東京へ行くのは年1回位になっています。

小学校へ入学するところのことですが、親戚や近所に80歳を超す人がいなかったようです。

最近、有名人で70歳代でなくなったニュースなどを見ると、まだ若いのと思うようになりました。

### 橋口 邦紘 9月23日

「神奈川県放射線友の会」設立15周年おめでとうございます。

何処へ行くあてもなく、何の楽しみもない爺さんの唯一の趣味は毎週28のTV予約番組等を鑑賞することですが、最近最も衝撃を受けた番組が二つありました。

藤井五冠「王位戦七番勝負」と9月8日エリザベス女王が崩御でした。

(Newsletter61号に掲載)

毎日の散歩(急歩)7000~8000歩(1万歩に挑戦したら右膝に違和感が出た)、TV録画と週末の競馬鑑賞、4人の孫の成長が楽しみですが心の寄り所はやっぱり「放友会」の様な気がします。皆さん、女王陛下の様に96歳まで長生きして下さい、コロナ禍にめげずに頑張りましょう。「神奈川県放射線友の会」の益々の発展を祈念致します。

**小松崎眞一 9月27日**

神奈川放友会 15周年おめでとうございます。

令和2年・令和3年は新型コロナウイルス発生により地域の盆踊り大会は中止になりました。令和4年の盆踊り大会は3年ぶりに7月末日行われました。

アルコールや食べ物などの販売を禁止して検温・消毒の徹底などコロナ対策をしっかりした上での大会でした。

感染者はおりませんでした。長年のストレスのせいが大盛り上がりでした。特に子供の参加者でごった返しでした。この地域では中止の団体が多かった中で1週間前まで中止・実施でもめました。実施出来たことに安堵しております。国からの制約もないので自己責任を重視することが大事だと思いました。コロナの感染も減少してきておりますので徐々に活動が再開して行くことを願っております。放友会が更なる発展をしますように。

**橋爪 俊幸 9月27日**

まもなく75歳、これを機に14年半ほど勤務した平塚駅ビル清掃パートを12月いっぱい退職、また運転免許証も年明け目途に返納予定です。

**千田 久治 10月2日**

「東洋公衆衛生学院で診療放射線技師教育に携わって10年になりました。今年、古稀を迎え体力の衰えを痛感している昨今です。新型コロナ感染症の影響で趣味の旅行も行けず残念です。日本人男性の健康寿命72.68年とのこと、自分がどれだけ元気でいられるか分かりませんが、早くコロナ感染症が終息することを願っています。

**野澤 武夫 10月5日**

御無沙汰しています。

かわりなし元気です。しかしながらコロナ対策の日々と言って過言でないも日々でした。国基準の接種回数は4回のすべてを満たしていることになります。

昨年の接種スタートしたころに比較し最近は予約方法が便利になりました。郵便局で予約可能となったことは有り難い事です。インフルエンザの予防が必要になりそうです。

**橘 亨 10月8日**

高齢に伴い、健康が一番気になる。健康維持の為、週3日スポーツジム通い。主にスイミング1時間+入浴(サウナ、ジャグジー)1時間としている。持病の腰痛のため、月一回ブロック注射に通っている。

又、月一回内科クリニック受診し定期的に血液検査等を受けている。

その他、家庭菜園で野菜作りや、バイク仲間とツーリングやキャンプを楽しんでいる。



**中村 豊 10月10日**

放友会に感謝 !!

毎日、運動不足にならないように1, 2時間の散歩と「健康管理」の学習を続けています。そして、月に1回程度の山歩きと年数回の温泉旅行を楽しんでいます。夢はCOVIT-19パンデミック感染で実現していないアフリカ旅行です。

放友会の10周年から15周年は私が(独法)国立病院機構相模原病院臨床研究センターを退職した年からの5年間でした。監事として、役員を務めさせていただきました。後半の3年間はコロナ感染拡大で放友会の活動は制限されましたが、東電福島第一・第二原発見学、JAXA宇宙科学研究所見学、青森六ヶ所村日本原燃「原子燃料サイクル」施設見学、北海道幌延深地層研究センター見学などに参加して、貴重な体験をさせてもらいました。また、Newsletterに巻頭言、旅行記、COVIT-19など10数回の報告が掲載でき、さらに「放射性廃棄物の処理」、「原子力発電 廃棄物の最終処分を考える」の執筆や編集に関わることができました。これらの原稿を書くために資料の収集や文章のまとめ方などPCを用いた学習ができ、日々の単調に成りがちの暮らしが充実しました。

**中島 義人 10月10日 横浜南共済病院**

近況報告の件を橋口様よりお話が有り、我が家の近況報告では昨年、長男が消防士となりましたので、いくつか質問し回答をもらいました。簡単になりますが書かせていただきます。

昨年度より横浜消防局に就職し6カ月の消防学校での訓練の後、港南消防署に配属されました。

昔から「人を助ける仕事がしたい」思っていた事、体格に恵まれ体を動かす事が好きだったので消防士を選択しました。

勤務して大変な事は不規則な勤務と24時間で平均12回~15回の緊急出動が有ります。

最近は火災が少なく、殆ど救急車での出動となります。

コロナ禍もあり、要救助者の体温が37度を超すと受け入れ病院が一気に少なくなります。

将来は救命士の資格を取り、救急隊長として横浜市に貢献したいと思っております。災害に直面した際、自分の知識と技術の無さを痛感します。訓練を繰り返し行い自信と成長に繋げていきたいと思います。

やりがいについては、子供達が手を振って振ってくれる事、人の役に立てて感謝の言葉をもらった時が何より嬉しく、頑張ろうと思えます。

神奈川放友会創立15周年おめでとうございます。

**草柳 伸彦 10月11日**

自宅庭の整備、火災跡地の整備で、忙しい状況が続いております。自宅改築も同時進行です。体調は、微熱があったり、倦怠感があったりで、イマイチです。

令和2年秋叙勲での、皇居見学が、コロナの影響で、延び延びになっていまして、連絡待ちしています。

体調と相談し、出席を考えているところです。

**村松 康久 10月11日**

妻と二人で雨の降らない日に健康好作りのため1時間程散歩をしております。

6月：直射日光に当たると暑いので、4時半に起きて、たたら浜、観音崎をぐるっと回って来ます。鴨居港には鶺鴒と鴨がエサを採るのに、もぐったり首を出したりしています。しばらく歩くと大きな鳥のアオサギが、海中の岩にいます。特にアオサギを見つけると二人で指をさして、いたいたと、なぜかホッとします。土・日・祭日は観光客が家族連れで、いくつもテントを張って海辺で楽しんでいます。散歩道の傍らには多くの花が咲いています。ツツジ・サツキが終わって、ヒメアジサイ・ガクアジサイがきれいです。森林にはクマゼミ・ミンミン・アブラゼミがうるさいくらい泣いています。

7月：観音崎海岸沿いを散歩していると、竿と網を持って1匹近い魚を2匹吊り上げた人が歩いて来た。魚の名前を聞くと、サワラだと教えてくれた。こんな低い岩場からでも大物が釣れるとは思わなかった。

8月：観音崎大橋を渡りはじめると、前方の水平線から真っ赤な太陽が少しずつ上って来て、まるで、ご来光を見ている様で、しばらく立ち止まって眺めしばし感激して見とれていた。何故か目の前を赤トンボが3~4匹飛んでいる。

9月：に入って朝が少し涼しくても日中は汗でびしょ濡れになる。道端には、コオロギの鳴く声があちこちで一段と大きく聞こえる。この季節の花はシオギク・ハマユウ・ハマカンゾウ・センニンソウが咲いていて見るのが楽しみの一つです。海に通じる小川には鴨が3匹エサをついばめていた。季節が進むにしたがって赤い曼珠沙華（彼岸花）が群生して、目に鮮やかです。景色を二人で眺め移り行く季節を感じつつ体力作りに励む事で心身ともに回復して来ることを願っています。

\* 畦元将吾衆議院議員が厚生労働大臣政務官に就任された事で、以前放友会でも応援したことを思い出しました。放射線技師の中から声を上げるためには、我々の仲間を国会に送り出すべきと願って応援したことを懐かしく思いました。勿論本人の努力も並大抵ではなかったと思います。オメデトウございます。

**福田 利雄 10月13日**

後期高齢者高齢現役医療従事者として想う

2017年（平成29年）11月開催の創立10周年記念式典から早や5年経過しました。

その大半の時期を新型コロナウイルス感染による影響を受け役員会・理事の皆さんのご苦勞は大変であった事と思います。新型コロナウイルスは2019年12月に中国の武

漢市で発生し武漢から世界に広がっていったというのが一般的である。そして免疫力の弱い高齢者の方が感染により多く亡くなっているのである。現在第7波のピークが過ぎ下火になっている状況であるがこれから冬に向かいインフルエンザの流行と同時に第8波が起こる可能性もある。

我が放友会の会員の方で感染されたという話は聞いていない。さすがに医療従事者としての自覚で感染予防に注意されている現れであると思う。社会生活も「非日常」から「日常」に戻りつつあるが油断は出来ないと思っている。高齢者の医療従事者2022年7月にコロナワクチン接種4回目済みであるが感染予防には注意して行きたい。

小生は今年5月に後期高齢者75歳になった。そして現在医療従事者として藤沢市の老人病院でX線撮影の業務についている。その病院は開院43年、未だにアナログ撮影である。X線フィルム、カセット、撮影条件（管電圧・管電流・タイマー）ほぼマニュアル設定。自動現像機手流し……。体格を見て永年の経験から撮影条件を決めている。現在主流であるデジタル化DR（FPD）システムでX線撮影業務されている若い技師さんには理解出来ない話では思われる。東海大学病院を定年退職し10年現在の撮影業務に何も問題なかったが、自動現像機の老朽化がはじまりトラブルが多く発生、修理部品の入手も難しい、自動現像機が使用出来ないと当院の放射線診療（X線撮影）出来なくなると病院上層部に事情を説明し、今年3月にデジタル化が承認されたのである。半導体不足により機器納入が遅れ、10月にLAN配線、FCRシステム機器設置が11月初め、ようやくアナログ撮影からデジタル撮影（FCRシステム）になるのである。同僚である櫻田晃（理事）さんと二人でこれまで多くの時間をデジタル化に向けての準備をしてきた。共に70歳を過ぎた高齢者医療従事者であるが、寝たきり高齢者の方のポータブル撮影に体力を使い、パソコンを駆使し院内勉強会発表資料、業務集計等の資料作りに頭を使っているのである。

放友会会員の仲間の皆さん、体を使い、頭を使い、これからの人生楽しみましょう親睦の会で皆さんとお会いする日を楽しみにしております。

### 長谷川 武 10月18日

傘寿を超えた会員が何名かいると思いますが、小生は82歳です。職を離れて久しいのですが、顧みると2001年の60歳定年退職後6年が経過していた頃の2007年に、神奈川放友会を設立する世話人役を努め、あれから15年間神奈川放友会にお世話になってきました。

2011年に隠居生活に入り、傘寿超えの高齢者になった昨今は、体力と能力の著しい減退に悩まされています。退職後は5時起床11時就寝を原則として、朝練の健康太極拳&ラジオ体操を日課として、5時30分から7時15分までの100分程を雨や雪でない限り元日も休まずに、近くの洋光台南公園に片道15分の道のりを、街路樹イチョウと銀杏に癒されながらウォーキングを楽しみ健康保持に努めています。この習慣は11年続いています。

ここ5年程は、神奈川放友会での原発関連施設見学や出版活動がつづき、「福島原発と富岡町訪問記・六ヶ所村原子燃料サイクル施設見学記・放射性廃棄物の処理・原発廃棄物の最終処分を考える」等の執筆編集と Newsletter の原稿や、近所の仲間と年に一回発行する「小道の譜」同人誌への投稿に追われてきました。同人誌は10人の会員があり、A5版220頁程の自作製本を発行し、地区センターでのヘスタに参加しております。今年も92冊を製本し、10月23日の「上中里地区センター2022ヘスタ」に参加しました。書く事がポケ防止の妙薬だと信じ、苦しいのですが精一杯の努力をして参加しています。

今年は朝練の仲間と一月より「神奈川県内の旧東海道を歩く」を4人で企画し、川崎より箱根までを10回に分けて毎週一回のペースで制覇しました。その後は膝の調子が思わしくなく、急激な歩行速度の落ち込みで、サプリメントの服用などで回復を願うが歩行能力の低下に見舞われており、著しい老化現象を実感しています。

春先は、鶺鴒（フキ）狩りや4月下旬に放友会員の友人と「タケノコ堀」、更に2度の小田原城のさくら見物に出掛けたことが、コロナと老いに負けずと行動した実績でした。

旅行等はコロナ禍の影響で控え目でしたが、ここ3年間では九州・中国・北海道・東北地方・上州へと何度か出掛けました。如何せん認知症の予備軍なので、女房の要望に引きつられお世話になっている次第です。

#### 仙臺 真紀夫 10月21日

現在も週4日勤務継続しています。

コロナ陽性患者もあり、緊張感の連続です。近頃は、コルセットが手放せなくなりましたが、無理のないよう頑張っていきたいと思っています。まだまだ新型コロナウイルスは、終息しませんが、会員の皆様も体調管理に気を付けてお過ごしください。

#### 志田 潤治 10月24日

元横浜市立市民病院画像診断部勤務

神奈川放友会創立15周年、誠におめでとうございます。年4回の会誌発行、長年の会の継続は、役員皆様のご尽力の賜物と感謝いたしております。コロナの蔓延から3年、生活・行動が厳しく制限されるなかストレスを抱えながらも良く皆で耐え抜いたよね！

さて、コロナが蔓延した2020年お正月の6日に私は、1泊2日で京都にいました。JIRAが行う「漏洩線量測定士」の認定を受けるためです。50年前、診療エックス線技師となり業務に就きました。私は、臨床のことと放射線測定器のこと、防護材のこと、中性子の減速材のこと、光子が軌道電子を跳ね飛ばす現象などが何時も気掛りでありました。東京電力福島原子力発電所事故の翌年、現場近くにある事業所へ測定器を抱えながら放射線管理者として従事していました。毎日、欠かさずシンチレーションで定点空間線量測定( $\mu\text{Sv/h}$ )・放射線安全管理・放射線従事者への教育訓練が主な仕事でありました。被災者の放射線被曝・風評被害等に接する機会もありました。

これらの経験を活かし現在、個人事業者として医療における漏洩線量測定業務を行

っています。現在、数施設の測定を行っていますが、毎年行われる測定器の校正代金等が支出されると残るものは殆どありません（妻：不満顔）元々儲けることが目的ではないから私はこれで満足です。今後、この測定器の有効活用から社会に更なる貢献をしたいと模索中です。（写真：電離箱サーベイメーターと実計測）

その他、診療放射線技師国家試験合格のためのサポートを行っています。国試再チャレンジの方、在校生を対象に合格準備支援（塾）をリモートで行って来ました。しかし現在は、授業内容の再検討、教師陣の確保等で塾は休んでいます。準備出来次第再会の予定です。今までも塾代は無料でありましたが、今年度も矢張り無料かなと考えています。アナログ人間がデジタルを学び教えることは困難なことです。しかし、時として朝2時まで資料の精査が続くこともあります。学生と一緒に学び知識を得ることは私の願望で苦勞だとは思っていません。

私の現状を背景・経過と共に放友会創立15周年に際し投稿いたしました。貴重な紙面を割いて頂きありがとうございました。



### 早瀬 武雄 10月25日

先週末に庄内地方鶴岡市黒川に行った。毎年1~2回訪れていたがここ2年半新型コロナウイルス感染拡大のために訪れることが出来なかった。新型コロナウイルスの感染が下降傾向の時に飛行機を予約したが現在では山形県は人口10万人当たり日本一の感染が出ている。羽田空港の夕方便に乗り羽約1時間弱で庄内空港に着く予定でしたが、庄内空港上空に雷雲があり上空で30分位旋回していました。幸い着陸出来ましたが羽田に帰るかもしれない案内もありました。

この時期は庄内柿が鮮やかな色を着け、たわわに実っていました。リンゴ・新種の梨・ラフランス（洋梨）・ブドウ、海の幸では、真冬は寒鱈のドウガラ汁、この時期は、はたはたの田楽、クチボソカレイなどがおいしく私も堪能してきた。庄内米だけでなく果物も豊富な地方で、これからは、春に採れたワラビ・ゼンマイ・コゴメ等山菜が乾物とされ直産売り場で販売されることとなります。（庄内地方の宣伝になりました。）春日神社で例年2月に行われていた蠟燭能が15日に開催されていた。王祇祭は来年2月には予定どおり開催されるようです。

この時期の庄内地方は、少し肌寒さを感じる時がありますが長閑な時期であり、私としては好きな時期です。帰り、30分かかる飛行場に向かう景色は、道沿いのセイタカアワダチソウがミモザと同じような鮮やかさで一面咲いていました。田んぼは刈入れされており白鳥が飛来してエサをついばんでいました。

田舎に暮らしている義姉とは家内が電話で交流をしていますが、直接会うことが出来、元気であることを確認できたことは良かったと思っています。

## 第5章 神奈川県放射線友の会 創立10年～15年間の年表

年	事業内容	社会の情報
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newsletter41号から44号 発行</li> <li>・平成30年度総会 開催</li> <li>・第10回 放談会 開催 「よくぞ続いた『放友会』これからを語る」</li> <li>・特別講演 「福島第一原子力発電所廃炉作業の取組み」</li> <li>・恒例の東京競馬場観戦&amp;参戦</li> <li>・東京電力福島第一第二原子力発電所見学と富岡町役場表敬訪問</li> <li>・「福島原発と富岡町」訪問記 冊子 発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オウム松本元死刑囚らの刑執行</li> <li>・日産ゴーン会長を逮捕</li> <li>・財務省が森友文書改ざん、20人処分</li> <li>・西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ</li> <li>・平昌五輪で最多メダル</li> <li>・日銀が政策修正、金利上昇容認</li> <li>・米朝が史上初の首脳会談</li> </ul>
平成31年 令和元年 (2019年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newsletter45号から48号 発行</li> <li>・平成31年度総会 開催</li> <li>・第11回 放談会 開催</li> <li>・JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館 見学</li> <li>・恒例の東京競馬場観戦&amp;参戦</li> <li>・地層処分についての勉強会</li> <li>・六ヶ所村日本原燃「原子燃料サイクル」施設 見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇陛下が即位。「令和」に改元</li> <li>・ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強</li> <li>・京都アニメーション放火、36人死亡</li> <li>・消費税率10%スタート</li> <li>・東日本で台風大雨被害、死者相次ぐ</li> <li>・ノーベル化学賞に吉野彰氏</li> <li>・マリナーズ・イチローが引退表明</li> </ul>
令和2年 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newsletter49号から52号 発行</li> <li>・神奈川県放射線友の会活動に関するアンケート調査集計報告</li> <li>・令和2年度総会 開催</li> <li>・六ヶ所村「日本原燃原子燃料サイクル施設」見学記 冊子 発行</li> <li>・「放射性廃棄物の処分を考える」冊子 発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大 緊急事態宣言</li> <li>・中国・武漢で新型肺炎発生</li> <li>・東京五輪・パラ 1年延期</li> <li>・菅首相誕生 新内閣発足</li> <li>・はやぶさ2 カプセル帰還</li> </ul>
令和3年 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newsletter53号から56号 発行</li> <li>・令和3年度総会 開催</li> <li>・幌延深地層研究センター 見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷メジャーMVP</li> <li>・東京五輪 最多58メダル</li> <li>・自民党総裁に岸田氏、首相に就任</li> <li>・新型コロナワクチン接種開始</li> </ul>
令和4年 (2022年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newsletter57号から60号 発行</li> <li>・令和4年度総会 開催</li> <li>・原子力発電廃棄物の最終処分を考える 冊子 発行</li> <li>・第60回「シルバー男の談話室」での講演</li> </ul> <p>11月17日 <b>神奈川県放射線友の会 創立15周年 記念日</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシア軍、ウクライナに侵攻</li> <li>・安倍元首相銃撃され死亡 (67歳)</li> <li>・英国エリザベス女王死去国葬が行われた</li> <li>・将棋の藤井聡太10代初の五冠</li> </ul>

## 第6章 歴代役員 名簿

## 平成30年度 神奈川放友会 役員

会長	長谷川 武				
副会長	橋口 邦紘	早瀬 武雄	草柳 伸彦	小松崎眞一	
理事	櫻田 晃	小嶋 昌光	本田 義和	上前 忠幸	仙臺眞紀夫
委員	福田 利雄				
監事	中村 豊	橘 亨			
相談役	萩原 明	柳生 博			
(担当)総務委員会	○ 橋口 邦紘	仙臺眞紀夫			
編集委員会	○ 早瀬 武雄	櫻田 晃	小嶋 昌光	仙臺眞紀夫	
渉外委員会	○ 上前 忠幸	早瀬 武雄	橋口 紘邦	草柳 伸彦	
企画委員会	○ 小松崎眞一	本田 義和	上前 忠幸	橋口 邦紘	
ホームページ運営委員会					
	○ 小嶋 昌光	早瀬 武雄	小松崎眞一	本田 義和	
NPO 法人検討委員会					
	○ 早瀬 武雄	長谷川 武	橋口 邦紘	草柳 伸彦	
	小松崎眞一	中村 豊	橘 亨		

## 平成31年(令和元年)度・令和2年度 神奈川県放射線友の会 役員

会長	長谷川 武				
副会長	橋口 邦紘	早瀬 武雄	草柳 伸彦	小松崎眞一	
理事	櫻田 晃	小嶋 昌光	本田 義和	上前 忠幸	仙臺眞紀夫
	福田 利雄	(平成31年度委員・令和2年度理事)			
監事	中村 豊	橘 亨			
顧問	野口 雄司	氏家 盛通	柳生 博		
(委員会)	総務委員会	○ 橋口 邦紘	上前 忠幸	仙臺 眞紀夫	早瀬武雄
	渉外委員会	○ 草柳 伸彦	橋口 邦紘	早瀬 武雄	上前 忠幸
	企画委員会	○ 小松崎眞一	橋口 邦紘	福田 利雄	小嶋 昌光
		本田 義和	仙臺眞紀夫		
	広報委員会	○ 早瀬 武雄	櫻田 晃	小嶋 昌光	仙臺眞紀夫
		小松崎眞一			
	構想委員会	○ 福田 利雄	早瀬 武雄	橋口 邦紘	草柳 伸彦
		小松崎眞一	櫻田 晃	上前 忠幸	中村 豊
		橘 亨	長谷川武		

## 令和3年度・令和4年度 神奈川県放射線友の会 役員

会長	長谷川 武				
副会長	橋口 邦紘	早瀬 武雄	草柳 伸彦	小松崎 眞一	
理事	櫻田 晃	小嶋 昌光	本田 義和	仙臺 眞紀夫	上前 忠幸
監事	中村 豊	橘 亨			
相談役	柳生 博	萩原 明			
(委員会)	総務委員会	○ 橋口 邦紘	村松 康久	仙臺眞紀夫	
	渉外委員会	○ 草柳 伸彦	橋口 邦紘	早瀬 武雄	上前 忠幸
	企画委員会	○ 小松崎 眞一	橋口 邦紘	本田 義和	上前 忠幸
	編集委員会	○ 早瀬 武雄	櫻田 晃	小嶋 昌光	仙臺眞紀夫
	ホームページ運営委員会				
		○ 小嶋 昌光	早瀬 武雄	小松崎眞一	本田 義和

役員の任期は「会則及び定款」の定めにより2年とする。

## 神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会) 会員名簿

会員数	氏名	会員番号
1	長谷川 武	1
2	早瀬 武雄	2
3	橋口 邦紘	3
4	上前 忠幸	4
5	坂野 建治	6
6	齋藤 節	7
7	中村 豊	8
8	大屋 博宣	10
9	福田 利雄	11
10	氏家 盛通	13
11	菊田 晴代	14
12	草柳 伸彦	15
13	志田 潤治	16
14	高橋 実	17
15	小松崎 眞一	18
16	村松 康久	19
17	小嶋 昌光	20
18	櫻田 晃	21
19	星野 光雄	23
20	佐々木 稔	26
21	奥山 康男	29
22	金城 隆三	30
23	齋藤 明	33
24	関口 榮次	34
25	萩原 明	35
26	中島 義人	40

会員数	氏名	会員番号
27	大西 敏夫	41
28	宮原 新吾	42
29	富田 拓宏	52
30	川嶋 正平	53
31	勝目 晃	56
32	加藤 功	60
33	佐伯 寿夫	62
34	橋 亨	64
35	仙臺 真紀夫	65
36	今本 寛策	66
37	野澤 武夫	67
38	中 直樹	68
39	福井 達夫	69
40	馬場 健太郎	70
41	中村 宏	71
42	野口 雄司	72
43	千田 久治	74
44	西村 幸治	76
45	判澤 勝明	75
46	松枝 由美	77
47	橋爪 俊幸	78
48	高橋 尚巳	79
49	合原 康行	80
50	斉藤 莊繁	81
51	南 広哲	82
賛助会員	菅野 正直	個人

2022年(令和4年)7月1日 現在



# 創立 15 周年記念誌 冊子編集

会 長	長谷川 武	
副会長	橋口 邦紘	早瀬 武雄
	小松崎眞一	草柳 伸彦
理 事	櫻田 晃	小嶋 昌光
	仙臺真紀夫	上前 忠幸
監 事	中村 豊	橋 亨
顧 問	野口 雄司	氏家 盛通

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大の第 7 波がやっと収束を迎えているようです。

約 3 年間も続いているこの感染拡大はまだまだ続きそうですが、これからは新型インフルエンザの感染と同じような経過をたどるのではないのでしょうか。With コロナでの活動を考えなければならぬのでしょうか。

この間、神奈川県放射線友の会の活動は、Newsletter の発行とホームページ掲載での情報発信及び啓発活動用副読本の出版事業でした。そして、この創立 15 周年記念誌の発行です。

コロナ収束後は会員の皆様のご意見を活かし新たな活動を目指したいと思っています。

まずは会員のご健勝と活動の再開を祈念したいと考えています。

## 神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会)

### 創立 15 周年 記念誌

#### — 創立 10 年から 15 年までの記録 —

発行日 2022 年 (令和 4 年) 11 月 17 日

発行人 長谷川 武

発行所 神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会)

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 4-9-8  
ストーク伊勢佐木 1 番館 504 号室

公益社団法人 神奈川県放射線技師会事務所内

TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

E-mail: kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp

